2019年度決算説明会

（2019年4月～2020年3月）

開催日：2020年6月2日

（東京都文京区小石川一丁目28番1号）

ジオスター株式会社

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

目次

1. 2019年度決算概要（P3～P13）

2. 2020年度業績予想（P14～P16）

3. 参考資料（P17～P27）

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

1. 2019年度決算概要

・2019年度の事業環境・・・・・・・・・・・・・・P4
・2019年度決算の概況・・・・・・・・・・・・・・P5
・連結決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
・受注高・受注残の推移 ・・・・・・・・・・・・・P7
・連結貸借対照表概要 ・・・・・・・・・・・・・・P8
・連結主要経営指標 ・・・・・・・・・・・・・・・・P9
・キャッシュフロー計算書概要・・・・・・・P10
・設備投資・減価償却の推移 ・・・・・・・P11
・2019年度・期末剰余金の配当・・・・・P12
・配当金の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2019年度の事業環境

【土木事業】
●公共投資は底堅く推移しており、先行きについても関連予算の執行による効果が期待される。

但し、以下の点は注視が必要である。
●新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、工事の中断。

●競合他社の能力増強に伴う競争激化。

●建設技能労働者、輸送従事労働者は不足傾向。

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2019年度決算の概況

大型セグメントに留まらず中小セグメント、土木製品等の新規受注ならびに生産の積み増しに努めると共に、徹底した原価低減を行い収益力向上に努めましたが、当期が大型物件端境期であり、加えて一部翌期へずれ込んだことも含め大型物件の生産・売上が減少したこと、能力増強を行った他社との競争が激化したこと等の影響により、減収減益となる。

●リニア中央新幹線向けRCセグメント生産開始

・2019年度7月より、リニア中央新幹線の第一首都圏トンネル（北品川工区）で使用するRCセグメント生産開始。

●海外事業

・シンガポールのセグメント需要を捕捉すべくGEOSTR-RV PTE.LTD.を設立し、現地生産化を進めながら事業展開を図ったが、近年のシンガポールセグメント市場の需給環境悪化により、選択と集中の観点から、同社の株式のすべてを合弁相手先に譲渡。

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

連結決算概要

（単位：百万円）

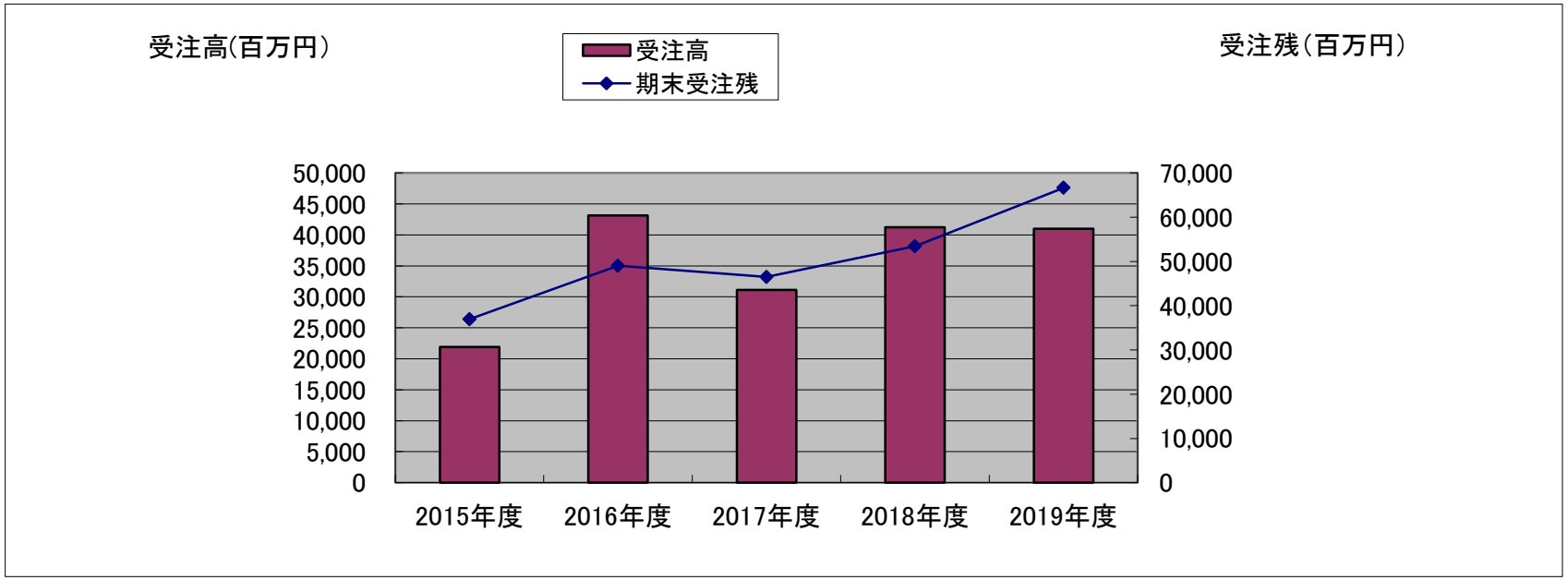
		2018年度 実績 A	2019年度 実績 B	前期比 C=B-A	増減率 C/A	2019年度業績予想公表値 2019年 5月15日	2018年 8月9日	2019年 11月8日	2020年 2月27日 （配当修正）	2020年 3月27日	2020年 4月28日
売上高		34,266	27,832	Δ 6,433	Δ 18.8%	31,000	29,000	29,000	29,000	27,000	27,832
営業利益		3,504	1,403	Δ 2,101	Δ 60.0%	1,000	800	1,000	1,000	1,220	1,403
経常利益		3,507	1,413	Δ 2,093	Δ 59.7%	1,000	800	1,000	1,000	1,220	1,413
親会社株主に帰属する当期純利益		2,022	528	Δ 1,494	Δ 73.9%	600	100	200	200	300	528
配当（円）	中間	5.00	－	Δ 5.00		未定	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	期末	14.50	5.00	Δ 9.50		未定	未定	未定	2.50	2.50	5.00
	年間	19.50	5.00	Δ 14.50	Δ 74.4%	未定	未定	未定	2.50	2.50	5.00

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

受注高・受注残の推移

（単位：百万円）

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
受注高	21,890	43,152	31,097	41,219	41,010
期末受注残	36,926	49,034	46,491	53,444	66,621



© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

連結貸借対照表概要

（単位：百万円）

科　　目	2018年度 A	2019年度 B	増減額 B−A
現預金同等物	2,905	1,766	△ 1,139
受手・売掛金	7,776	7,086	△ 690
たな卸資産	8,223	8,378	155
未収入金	3,627	3,079	△ 547
その他	285	279	△ 5
流動資産合計	22,818	20,590	△ 2,228
有形固定資産	8,478	8,276	△ 202
投資有価証券他	1,669	1,282	△ 387
固定資産合計	10,148	9,558	△ 589
資産合計	32,966	30,148	△ 2,818

科　　目	2018年度 A	2019年度 B	増減額 B−A
長短借入金	2,120	1,250	△ 870
支手・買掛金・未払	7,589	6,724	△ 865
その他	3,715	2,605	△ 1,110
負債合計	13,425	10,579	△ 2,845
自己資本	19,777	19,569	△ 208
その他有価証券評価差額金	553	188	△ 365
非支配株主持分	△ 236	0	236
純資産合計	19,541	19,569	27
負債純資産合計	32,966	30,148	△ 2,818

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

連結主要経営指標

	2018年度	2019年度
自己資本当期純利益率（ＲＯＥ）	10.6%	2.7%
総資産経常利益率（ＲＯＡ）	10.5%	4.5%
売上高営業利益率	10.2%	5.0%
D/Eレシオ	0.11倍	0.06倍
自己資本比率	60.0%	64.9%
有利子負債残高	2,120百万円	1,250百万円
期末総資産	32,966百万円	30,148百万円
期末自己資本	19,777百万円	19,569百万円

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

キャッシュフロー計算書概要

2019年度は法人税支払い、設備投資等によるフリーキャッシュフロー6.8億円の減少、及び配当金支払4．5億円により現金同等物が11．3億円減となる。

（単位：百万円）

	2018年度 A	2019年度 B	増減額 B−A
税金等調整前当期純利益	2,883	772	△ 2,111
減価償却費	1,165	916	△ 248
法人税	△ 1,373	△ 1,240	132
その他営業キャッシュフロー	1,716	△ 226	△ 1,943
投資キャッシュフロー	△ 796	△ 905	△ 108
フリーキャッシュフロー	3,595	△ 683	△ 4,278
借入金等　返済・調達	△ 1,866	14	1,880
支払配当	△ 656	△ 453	202
その他	△ 18	△ 17	1
現金同等物　増減額	1,054	△ 1,139	△ 2,194
現金同等物　期首残	1,851	2,905	1,054
現金同等物　期末残	2,905	1,766	△ 1,139

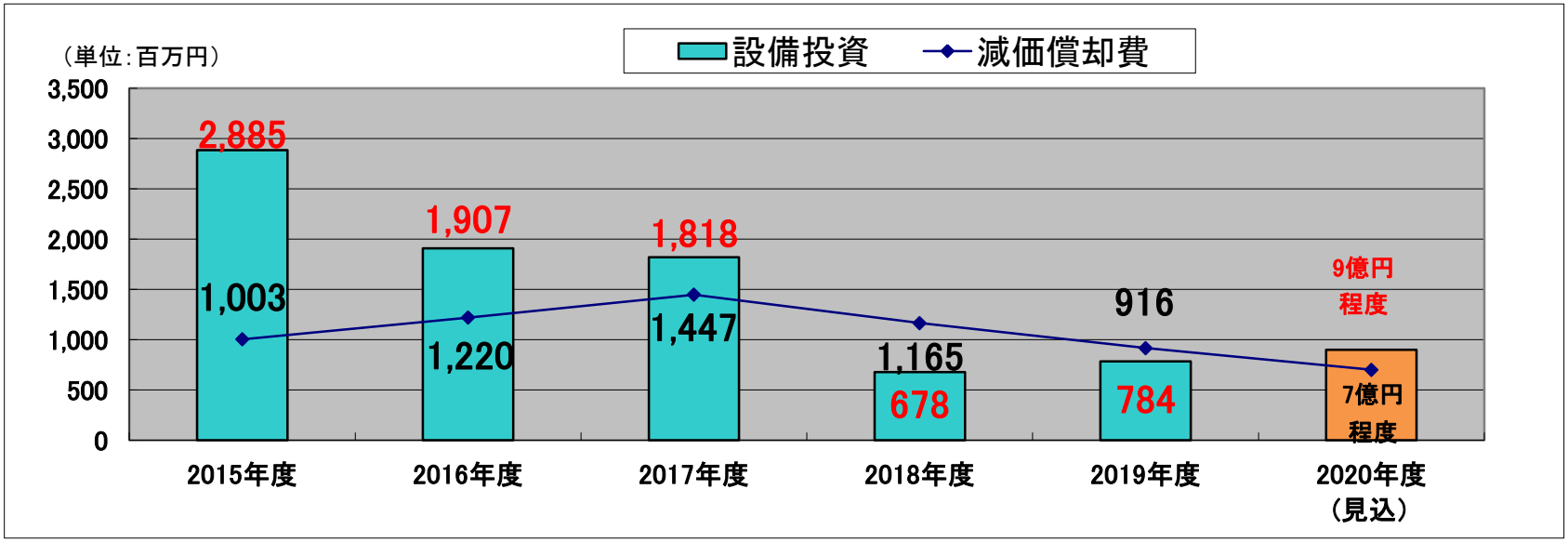
© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

設備投資・減価償却の推移

2019年度は、生産設備の維持補修、型枠購入、無形固定資産を含めて7億84百万円の設備投資を実施いたしました。

（単位：百万円）

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度（見込）
設 備 投 資	2,885	1,907	1,818	678	784	9億円程度
減 価 償 却 費	1,003	1,220	1,447	1,165	916	7億円程度



© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2019年度・期末剰余金の配当

【利益配分に関する基本方針】

これまで剰余金の配当に関しましては、当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と永続性を目指し、収益状況に対応した安定適性な配当維持に努力することを基本方針とし、また、内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えてまいりました。

今般、株主の皆様への利益還元方針をより明確化する観点から、次期（2020年度）の剰余金の配当から、以下のとおり見直すことといたしました。

当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と永続性を目指し、収益状況に対応した適正な配当維持に努力することを基本方針といたします。また、内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。

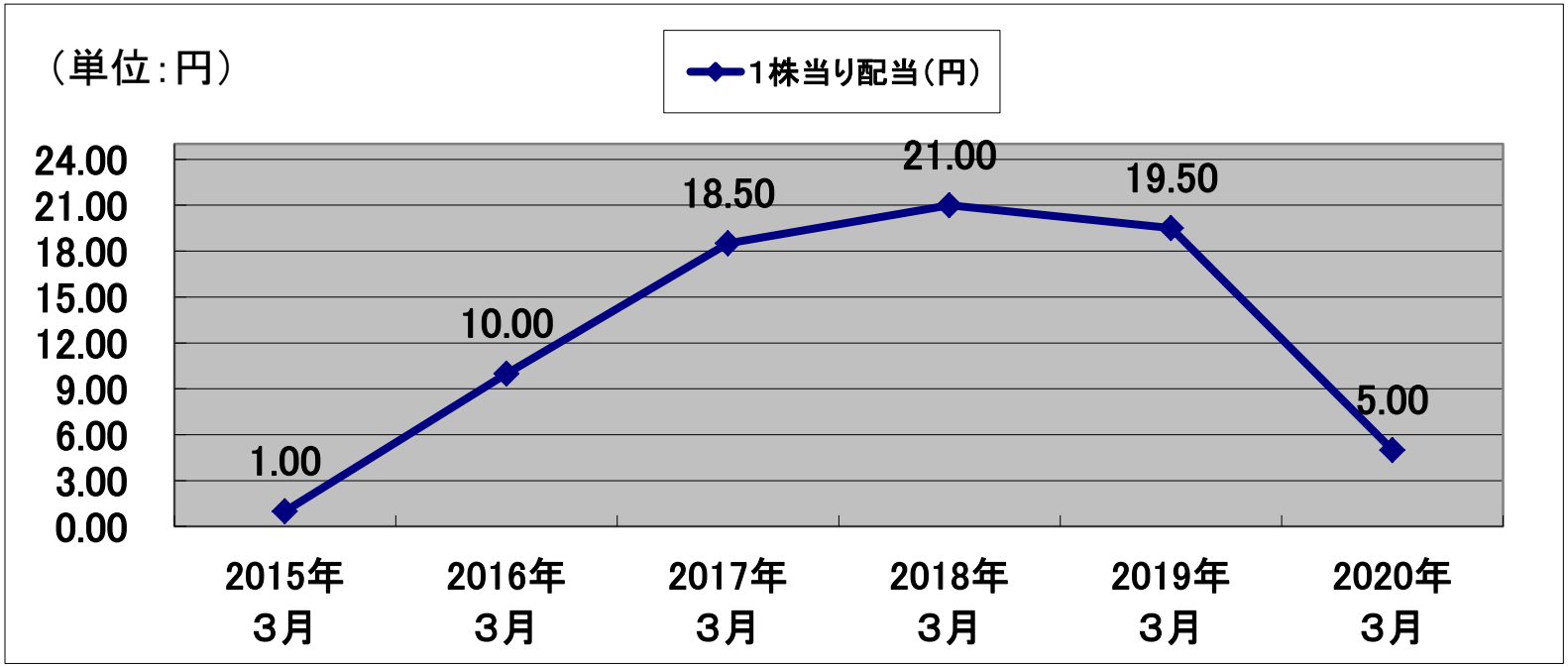
収益状況に対応した適正な配当の指標として

⇒連結配当性向年間30%程度を目安とします。

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

配当金の推移

決算年月	2015年 ３月	2016年 ３月	2017年 ３月	2018年 ３月	2019年 ３月	2020年 ３月
１株当り配当 （円） （内中間配当額）	1.00 （－）	10.00 （－）	18.50 （5.00）	21.00 （5.00）	19.50 （5.00）	5.00 （－）



© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2. 2020年度業績予想

・2020年度の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P15
・2020年度業績予想 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P16

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2020年度の概要

●事業環境
生産量・売上高は増加するものの、主力であるセグメント製品の市場環境の悪化から収益が大幅に低下し、増収減益の見込み。

●対策
・リニア中央新幹線等の大型セグメントに留まらず中小セグメントを確実に受注する。

・土木製品についても受注拡大を図り、また新製品の開発・技術提案力の強化に努める。

・防災・減災を中心に新規分野開拓に向け、市場ニーズに基づく商品のブラッシュアップとコンクリートと鉄のハイブリッド建材を中心とした差別化製品の開発を行い、土木製品の市場開拓強化を図る。

・調達改革・固定費適正化など抜本的なコスト削減を実行し、収益確保に努める。

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2020年度業績予想

（単位：百万円）

	2019年度		2020年度			前期比	
	実績		業績予想（5/15公表値）			増減額	増減率
	A	比率	第2四半期（累計）	通期 B	比率	C=B−A	C/A
売上高	27,832	100.0%	13,600	30,800	100.0%	2,968	10.7%
営業利益	1,403	5.0%	100	800	2.6%	△ 603	△ 43.0%
経常利益	1,413	5.1%	100	800	2.6%	△ 613	△ 43.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	528	1.9%	50	500	1.6%	△ 28	△ 5.4%
配当（円）	5.00	−	未定	未定	−	−	−

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

参考資料

・今後予定される主なプロジェクト

・ジオスターの地下空間

セグメント製品

土木製品

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

今後予定される主なプロジェクト

1.リニア中央新幹線

概要：東京と名古屋を結ぶ高速鉄道

区間：品川～名古屋

第一首都圏トンネル：延長約41キロ

①北品川工区　　：約　9キロ（熊谷JV）

②梶ヶ谷工区　　：約12キロ（前田JV)

③東百合丘工区　：約　4キロ（西松JV）

④小野路工区　　：約12キロ（安藤・ハザマJV）

⑤第二首都圏　　：約　4キロ（未定）

第一中京圏トンネル：延長約22キロ

①工区名未定　　：約　1キロ（未定）

②坂下西工区　　：約10キロ（安藤・ハザマJV）

③名城工区　　：約　8キロ（前田JV）

④風越山工区　　：約　3キロ（未定）

完成予定：2027年

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

2.北海道新幹線

概要：新函館北斗～札幌（211キロ）区間のうち
手稲山から札幌駅付近までの地下部を通過する
新幹線用シールドトンネル

区間：札幌市手稲区～札幌市中央区

延長：約8キロ

完成予定：2030年

3.枚方トンネル

概要：新名神高速道路
枚方市域の地下部を通過するシールドトンネル

区間：大阪府枚方市～京都府八幡市

トンネル区間：約3キロ（上下線合わせて約6キロ）

完成予定：2023年

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

4.鹿児島東西道路

概要：鹿児島ICと鹿児島中心市街地を結ぶ道路

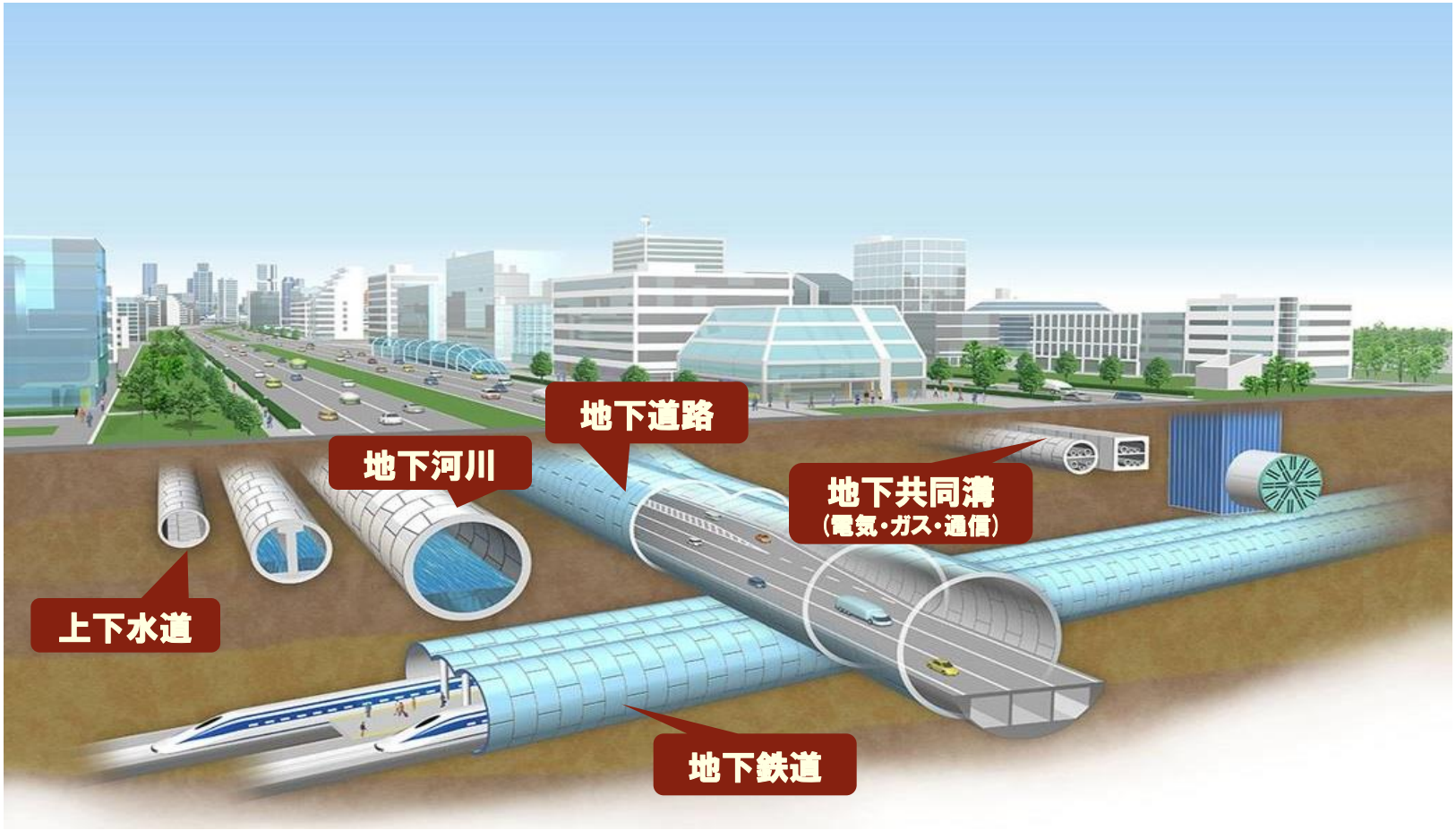
区間：田上IC～甲南IC（仮称）

下り線トンネル区間：下り線2.3キロ

完成予定：2027年

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

ジオスターの地下空間



© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

セグメント製品

●RCセグメント

●スチールセグメント
●CPセグメント
●HCCPセグメント
●NMセグメント

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

土木製品

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

土木製品

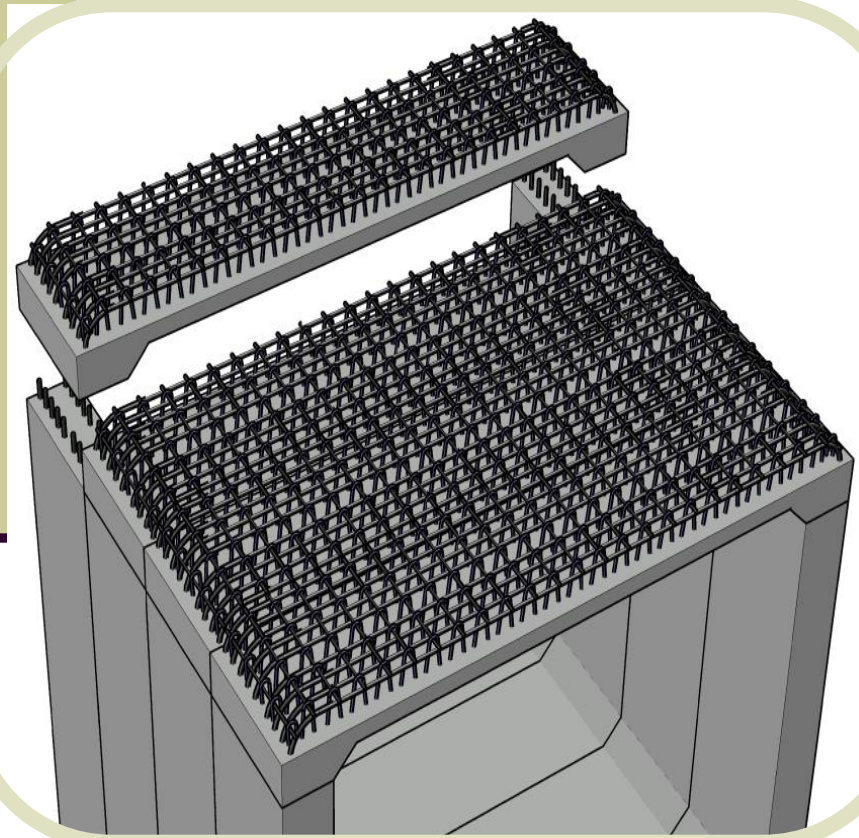
●ボックスカルバート
●アーチカルバート
●L型部材
●共同溝
●防潮堤
●モジュラーチ
●ｼﾞｵｳｴｱﾎﾞｯｸｽ
●矢板
●スラブ

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

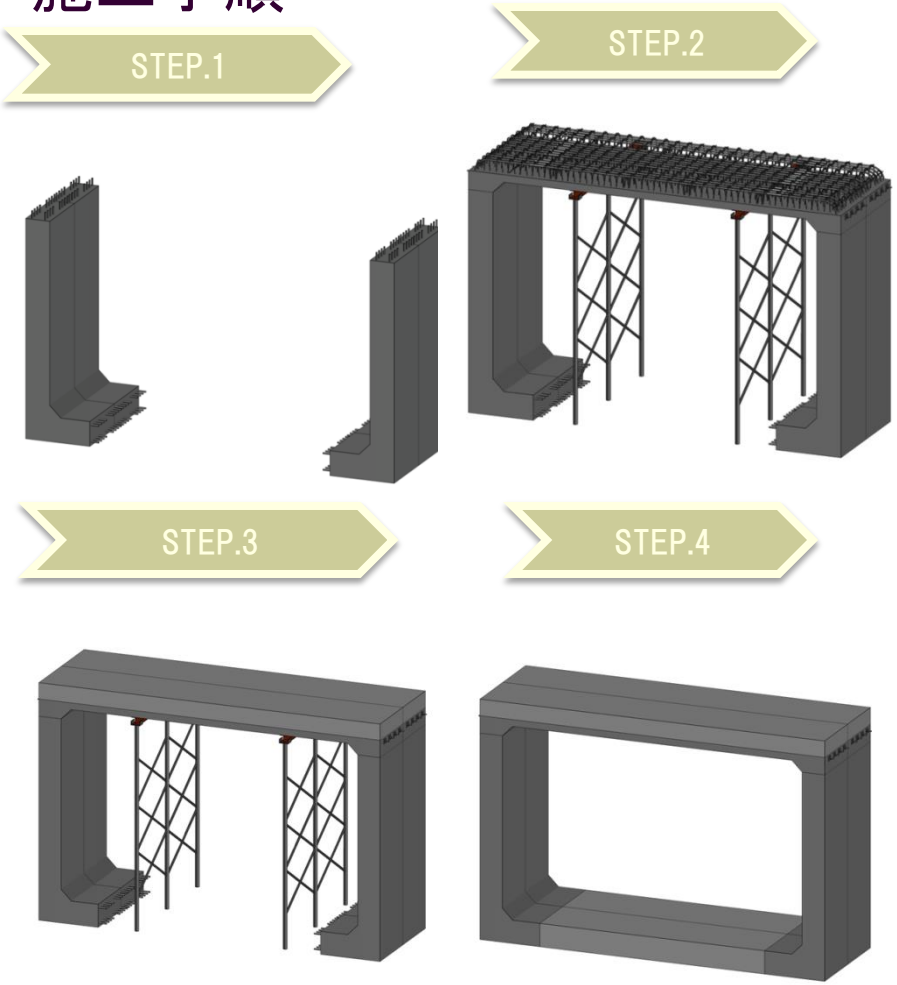
新製品開発

大断面・多分割カルバート

ハーフプレキャスト
ボックスカルバート

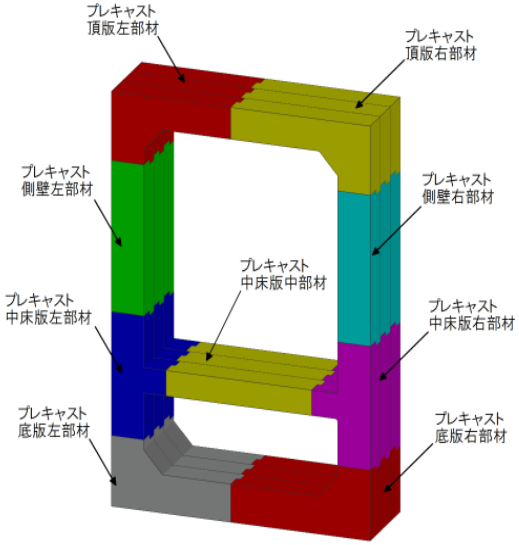


施工手順



© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

新製品開発 大断面・大深度・高水圧における多分割カルバート



・大断面・大深度・高水圧における多分割カルバートとは

当社は道路トンネルをはじめ大断面カルバートの開発を行い多くの納入実績があります。

一方、土被りが大きい大深度では、地下水による高水圧の性能が求められます。

そこで分割部材の接合部の構造を工夫することで、0.4MPa（水深40m相当）の高耐水性のカルバートを開発しました。

今回、狭隘な現場で平面線形および縦断勾配等、複雑な現場条件の中での多分割カルバートの施工実績を左図に紹介します。

近年、建設業界で求められている生産性向上（i-Construction）に貢献できるプレキャスト製品であり、今後の当社の大断面カルバートの拡販に寄与していく工法です。

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。

© 2020 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.